

生徒の自主性を伸ばすスローガン 「生徒一人ひとりが主役です」

本校は、幾多の変遷を経て昭和44年に県立大島北高等学校として独立し、今年で創立68周年を迎えます。今までに学科の統廃合などを経ながら、現在普通科一学級、情報処理科一学級、計6学級の小規模校ですが、北大島地区の拠点校として大きな役割を果たしています。

目指す生徒たちが取り組んでいます。部活動では、カヌー部が全国大会や九州大会で活躍し、空手道部は女子個人形で県民体育大会で優勝しました。

生活指導部
生活指導部の主な活動は、校外での生徒の指導や8月に行われる「あやまる祭り」で先生方と一緒に行う巡回指導です。

祭での母親隊のサポート及び独自の食物バザーの出店です。笠利湾一周板付け舟りレーでは母親隊と共に作業を行っています。

ちがシマを離れていきます。シマに育った私たち親子が、奄美の伝統舟である板付け舟を仲間や親子のグループで漕ぎながら、シマを愛する気持ちやシマの良さを改めて体感させたいという思いから始まりました。

本大会を成功させるため、特に、安全面について数回会議を開きます。昨年は台風の影響で中止となりましたが、これからも保護者・職員・地域の皆様の協力の下、続けていきたいと思えます。本校は全校生徒112人と小規模校ですが、シマ特有の「結の精神」で地域全体で子育てをしています。そのおかげで、子どもたちは素直で純粋な子に成長しています。

本校は、奄美大島の北部奄美市笠利町に位置し、山と海に囲まれた自然の豊かな所に在り、たくさんの人が観光で訪れる風光明媚な海岸近くに立地しています。

本校はスローガンに「生徒一人ひとりが主役です」を掲げ、校訓は「自らの態度」、「積極敢為の協の態度」、「積極敢為の気迫」であり、生徒自ら進んで学ぼうという熱意を持ち、生徒同士認め合い協力しながら、いかなる困難に遭遇してもくじけず、将来の夢や目的を達成する人間に成長してほしいという願いが込められています。

保健部
保健部の主な活動は、毎年、体育祭前に行われる保護者、生徒、教職員全員での校内奉仕作業です。昨年は、母親隊が働き氷を準備し、作業後に参加者全員でおいしくいただきました。

母親隊
この役割は、主に学校行事でのサポート役です。毎年7月後半の日曜日に行われる、笠利湾一周板付け舟りレーでの、飲み物の準備やお昼のまかない料理を作っています。文化祭では、食物バザーを出店し、生徒や来場者にも大変喜んでもらっています。

最後に、他校にはあまりない笠利湾一周板付け舟りレー大会の説明をします。この行事はPTA主催です。高校を卒業するとほとんどの子どもたち

本大会を成功させるため、特に、安全面について数回会議を開きます。昨年は台風の影響で中止となりましたが、これからも保護者・職員・地域の皆様の協力を

本校では、朝課外が実施され、進学や資格取得

研修部の主な活動は、他の専門部と連携して学級・学年・地区PTA等の集会・行事に積極的に参加してもらうための取組や卒業式当日に発行するPTA新聞「てーち木」の紙面作りを行っています。

父親隊
父親隊は、母親隊だけでは大変という声が聞かれ、2年前に発足しました。主な活動は、文化

研修部の主な活動は、他の専門部と連携して学級・学年・地区PTA等の集会・行事に積極的に参加してもらうための取組や卒業式当日に発行するPTA新聞「てーち木」の紙面作りを行っています。

研修部の主な活動は、他の専門部と連携して学級・学年・地区PTA等の集会・行事に積極的に参加してもらうための取組や卒業式当日に発行するPTA新聞「てーち木」の紙面作りを行っています。

研修部の主な活動は、他の専門部と連携して学級・学年・地区PTA等の集会・行事に積極的に参加してもらうための取組や卒業式当日に発行するPTA新聞「てーち木」の紙面作りを行っています。



第12回 笠利湾一周板付け舟りレー

得て活動を続けていきます。